

「生きがいと 地域のニーズを 結びます」

# 第3次 中期計画

令和6年度～令和10年度



公益社団法人  
高岡市シルバー人材センター

# 目 次

第3次中期計画策定にあたって	1
----------------	---

1 計画策定の目的	2
-----------	---

2 計画の期間	2
---------	---

3 目標値	3
-------	---

4 基本計画	
--------	--

(1) 会員の拡大	4
(2) 就業機会の拡大	5
(3) 就業率と就業能力の向上	6
(4) 安全就業の徹底	7
(5) 適正就業の推進	8
(6) 組織・事業の充実強化	8
(7) 財政基盤の強化	10

## 5 資料編

(1) 高岡市の60歳以上の人口推移	12
(2) 男女別会員数と入会率	12
(3) 会員の状況	12
(4) 会員の年齢構成	13
(5) 契約額の状況	13
(6) 事故発生状況	14
(7) その他	14
(8) たかおかSDGsパートナー	14

## 第3次中期計画策定にあたって

高岡市シルバー人材センターは、昭和57年に設立され、昨年度設立40周年を迎え、元気で働く意欲のある高年齢者に就業機会を提供とともに、生きがい活動の拠点として、今後とも地域社会の発展に寄与していくことを新たに決意したところであります。

第2次中期計画期間中（令和元年度～令和5年度）には、

- (1) 労働関係法令の改正により、サラリーマンの定年制が廃止もしくは延長され、70歳まで継続雇用が可能となり、入会者が減少
- (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い社会経済活動が制約を受け、入会者、受注ともに減少
- (3) 諸物価高騰により節約志向が高まり受注減少

などシルバー人材センターを取り巻く環境は厳しさを増してきました。

このような中で、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の運営補助や介護施設に対して介護サポーターとして会員を派遣する事業を開始するなど新規事業の開拓にも取り組んでいます。

元気な高齢者が、超高齢化社会の支え手となる社会の仕組みづくりの一助になるよう努めて参ります。

また、インターネットを活用した新規入会受付や業務受注、配分金明細の閲覧などのオンライン化を順次進め、業務の効率化とサービス向上に努めていますが、さらに利用拡大とサービスの充実に努めて参ります。

今般新たに策定した第3次中期計画（令和6年度～令和10年度）に基づいて、各年度の事業計画を策定し、実施に取り組み、持続可能な事業運営と発展を目指して参ります。

令和6年3月

公益社団法人  
高岡市シルバー人材センター  
理事長 杉 江 幸 男

## 1 計画策定の目的

平成31年に策定した第2次中期計画に基づき、これまで培った実績を確たるものとし、さらなる飛躍を目指し事業運営に取り組んできました。

しかしながら、この5年間の期間中には、不安定な世界情勢や物価高騰、コロナ禍による社会・経済への影響もあり、センターをとりまく環境は一段と厳しさを増してきております。

今後とも働く意欲のある会員の活動の場として、地域のニーズに的確に応えられるシルバーであり続けるために、第3次中期計画（令和6年度から5年間）を策定し、健全で適正なセンター事業運営を図るため、今後の指針を立てるものであります。

## 2 計画の期間

本計画の期間は、富山県シルバー人材センター連合会の第3次中期計画（計画期間：令和6年度から10年度）にも対応していくため、令和6年度から10年度までの5年間とします。

また、本計画の期間中に雇用情勢、経済状況等シルバー人材センターを取り巻く社会環境が大きく変化した場合には、理事会等で適宜、計画の見直しを行うなど柔軟な対応を行います。



### 3 目標値

目標数値の設定に当たっては、過去5年間の実績や推移、シルバー人材センターの現状などをもとに、現実的な目標数値とします。

#### 【年度別目標値】

	会員数	契約件数	契約金額	就業率
令和6年度	1,020人	12,320件	477,000千円	82.5%
令和7年度	1,030人	12,340件	478,000千円	83.5%
令和8年度	1,040人	12,360件	479,000千円	84.5%
令和9年度	1,050人	12,380件	480,000千円	86.5%
令和10年度	1,060人	12,400件	481,000千円	87.5%

#### 【参考】

令和4年度(実績)	1,005人	12,693件	475,130千円	82.9%
令和5年度(見込)	1,010人	12,300件	476,000千円	81.5%

#### 【会員数】

会員数は、富山県シルバー人材センター連合会の第3次中期計画の目標数値に合わせ、コロナ禍前の令和元年度の会員数（1,059名）を前提に、令和10年度には「1,060人」を目標数値に設定します。

#### 【契約件数】

受託件数は、令和5年度上半期に屋外作業等で約240件減少しており、年度末には約12,300件となる見込みです。この数値を基に各年度で20件増加を目標とし、令和10年度には「12,400件」を目標数値に設定します。

#### 【契約金額】

契約金額は、令和5年度上半期に大口の派遣契約により、約900万円増加しており、年度末には約476,000千円となる見込みです。この数値を基に各年度で100万円増加を目標とし、令和10年度には「481,000千円」を目標数値に設定します。

#### 【就業率】

就業率は、令和5年度上半期で77.3%と前年同期より1.6%減少しており、年度末には81.5%となる見込みです。この数値を基に各年度で1%の増加を目標とし、令和10年度には「87.5%」を目標数値に設定します。

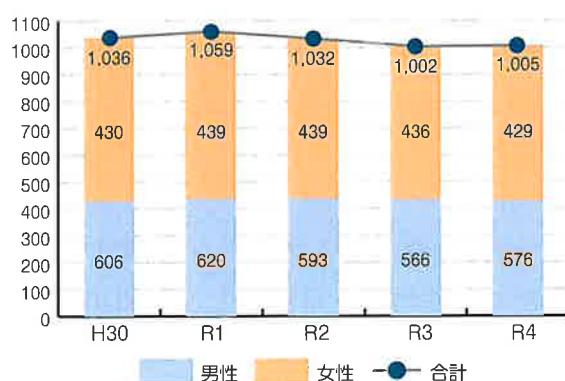
## 4 基本計画

### (1) 会員の拡大

#### 【現状と課題】

- ・会員数はH22年度の1,303名を最高に、R4年度には1,005名まで減少しており、特にR2年度と3年度はコロナ禍の影響を受け、退会者が入会者を上回り会員数も大幅に減少しています。
- ・「会員の平均年齢」を見ると、H25年度は71.4歳でしたが、H30年度には73.9歳、R4年度には75.1歳となっており、年々上昇しています。
- ・「入会の動機」については、生きがい・社会参加が最も多く、時間的余裕や健康維持・増進が上位を占めており、近年は経済的理由で入会する会員も増えています。
- ・「退会の理由」については、病気・加齢が最も多く、その他で就職、希望する仕事がないなどの理由が続いている。
- ・会員拡大のためには、入会者の増加と退会者の抑制を図ることが重要です。
- ・会員が希望する管理分野や事務分野などの就業機会を確保することも課題となっています。

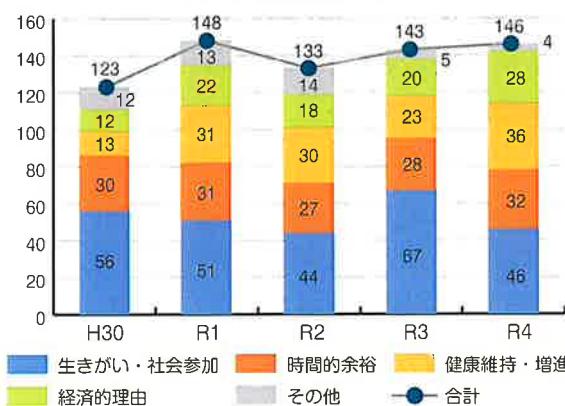
会員数の推移



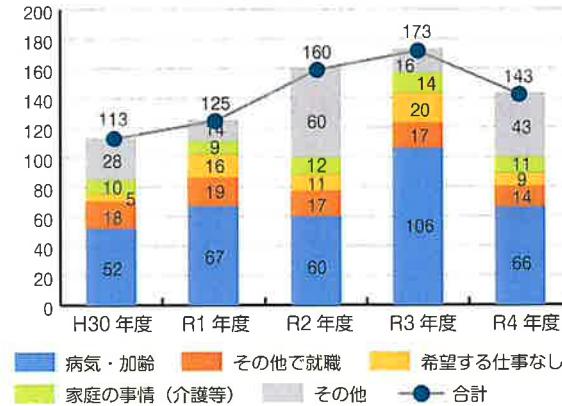
会員の平均年齢の推移



入会動機の推移



退会動機の推移



## 【具体的な取組み】

### ①入会促進

- ・インターネット上で入会手続きができる「WEB入会」を広く周知します。
- ・高岡市公式LINEで、説明会開催日の周知やセンター事業のPRを行います。
- ・会員が新たな会員を紹介する「友達紹介キャンペーン」を継続的に実施します。

### ②退会防止

- ・未就業会員への電話等による就業相談や現況の把握を行い、就業促進に努めます。
- ・就業情報などセンターからの情報を素早く受け取ることができる、会員専用の情報提供サービス「Smile to Smile」の普及に努めます。
- ・独自事業の「シルバーふれあい市」は、高年齢会員の就業の場となっており、今後も継続して開催するとともに、新たな独自事業の研究を行います。
- ・会員互助会と連携し、会員が楽しめる各種行事を開催します。

### ③女性会員の増強

- ・介護補助や家事援助など、女性会員の活躍が期待される就業分野の受注が増えていることから、女性会員の増強を図り、地域のニーズに対応していきます。

## (2) 就業機会の拡大

### 【現状と課題】

- ・契約金額は、平成18年度の644,111千円を最高に年々減少し、令和4年度には475,129千円まで減少しています。
- ・受託事業（請負・委任）は年々減少傾向ですが、派遣事業は増加傾向にあります。
- ・事業所等からの清掃業務や、一般家庭からの庭木の手入れ、除草などの受注は増加していますが、就業を希望する会員が減少しています。
- ・就業機会の拡大は、会員の拡大とともに事業の根幹をなすもので、会員の能力と希望に応じた就業機会の確保と提供が求められます。
- ・就業機会を拡大するためには、センターの就業内容について、さらに広く周知する必要があります。



## 【具体的な取組み】

### ①全般

- ・インターネット上でお仕事の注文ができる「WEB受注」を広く周知します。
- ・会員や市民向けの剪定・雪吊り体験講習会を開催し、後継者を育成します。
- ・就業開拓委員会では、企業訪問などを通じて、多様化する発注者のニーズを的確に捉え、会員の就業ニーズとのマッチングを図ります。
- ・ミスマッチ解消のため、経験のない仕事へのチャレンジ呼びかけや体験就業の実施、就業現場の見学会などを行います。

### ②公共機関

- ・公共機関等の業務委託情報を収集し、受注業務の拡大に努めます。
- ・会員が希望する事務的分野の業務切出しの提案などを行います。

### ③民間事業所

- ・介護補助や保育補助など人手不足分野における派遣就業での就業開拓を行います。
- ・賛助会組織の繋がりを活かし、事業所等への訪問活動を行います。

### ④一般家庭

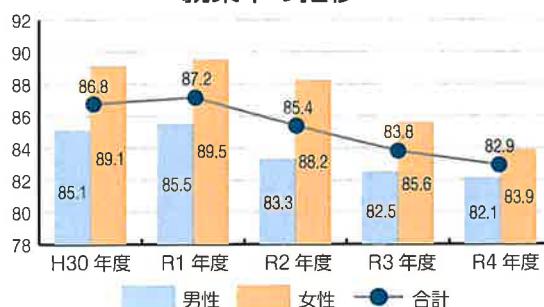
- ・会員の口コミやイベント会場等でのチラシ配布などを通じて、センター事業を広くPRします。
- ・高齢化の進展に伴い、依頼の増加している家事援助など、女性会員の活躍が期待される分野でのマッチング向上を図り、地域のニュースに対応します。

## (3) 就業率と就業能力の向上

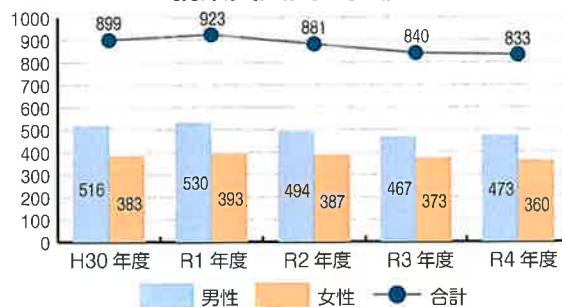
### 【現状と課題】

- ・就業率は、平成29年度の88.1%を最高に年々減少し、令和4年度には82.9%まで減少しています。また、就業実人員も平成22年度の1,104名を最高に年々減少し、会員数の減少も伴い、令和4年度には833名まで減少しています。
- ・令和3年度と4年度はコロナ禍の影響を受け、就業率・就業実人員ともに大きく減少しました。
- ・約1,000名の会員のうち、17%の会員が「希望する仕事がない」や「体調不良」などの理由で未就業となっており、就業率向上のためには、こまめな就業情報の提供や会員の希望する仕事とのマッチングに努めることが課題となっています。

就業率の推移



就業実人員の推移



## 【具体的な取組み】

### ①就業率の向上

- スマートフォンなどで「現在の就業情報」を確認できる、会員情報提供サービス「Smile to Smile」の登録を促進し、会員への素早い情報提供に努めます。
- 未就業者に対して、面談や電話連絡などで現状を把握し、就業機会の提供とマッチングに努めます。

### ②就業能力の向上

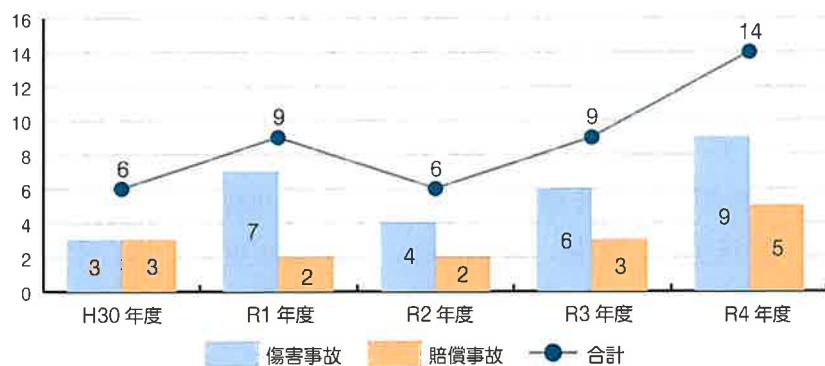
- より多くの会員の就業機会を得ることを目的に、富山県シルバー人材センター連合会と連携し、技能・技術を習得する各種講習会・研修会を開催します。
- 会員個々の作業能力の向上を図り、発注者からの多様化するニーズに対応するための講習を行なうとともに、接遇研修も取り入れながら、会員のスキルアップとサービス向上を目指します。

## (4) 安全就業の徹底

### 【現状と課題】

- 令和4年度の事故発生状況（保険適用）は、傷害事故9件、賠償事故5件、合わせて14件の事故が発生しています。事故の内訳として「傷害事故」では、作業用具で切創、転倒し骨折、蜂刺されとなっています。また「賠償事故」では、草刈り中の飛石、草刈り中に刈刃で外壁を破損する事故などが発生しています。
- 令和5年度は12月末現在で、傷害事故4件、賠償事故1件、合わせて5件の事故が発生しています。
- 近年、会員の平均年齢が上昇する中、個人差はありますが、加齢による身体機能の低下により、つまずき・滑りによる転倒事故が増加しています。

事故発生状況の推移



### 【具体的な取組み】

- 安全適正就業推進委員会では、富山県シルバー人材センター連合会と合同で、就業現場の安全パトロールを実施し、その結果を会員にフィードバックし、好事例や危険な事例などを会員と共有します。
- 熱中症、ハチ刺され、凍結路面での転倒など、時節的に発生確率の高い事故の事案を把握し、SNSや事務局だよりなどで会員へ周知し、事故防止に努めます。

- ・草刈り作業時の飛石事故など発生率の高い案件について作業内容を分析し、再発防止策（飛石ネットの貸与・除草剤散布への切り替えなど）を講じます。
- ・作業前の準備運動（ストレッチ）を推奨し、つまずきや転倒事故防止に努めます。

## (5) 適正就業の推進

### 【現状と課題】

- ・センターの就業は、受託事業（請負・委任）、労働者派遣事業、職業紹介事業など多岐に渡るため、それぞれの形態において適正な就業を確保することが重要です。
- ・適正な就業のため、会員や発注者に対してセンターの仕組みや就業形態の違いを説明し、センター事業の理解を深めることが重要になっていきます。
- ・仕事の受注にあたっては、適正な賃金・配分金水準の設定や、民業圧迫とならないように配慮することが必要です。

### 【具体的な取組み】

- ・適正就業については、「法令遵守」を基本とし、会員・発注者に対して、厚生労働省・全国シルバー人材センター事業協会が定める「適正就業のガイドライン（会員向け・発注者向け）」の周知を行います。
- ・新規に受注する業務については、事前に就業内容等を把握し、適正な就業形態で受注することを徹底します。
- ・最低賃金上昇や近年の物価高騰に対応するために、発注者の理解を得ながら、就業見積基準単価の見直しを行い、会員の対価（配分金）の適正化を図ります。

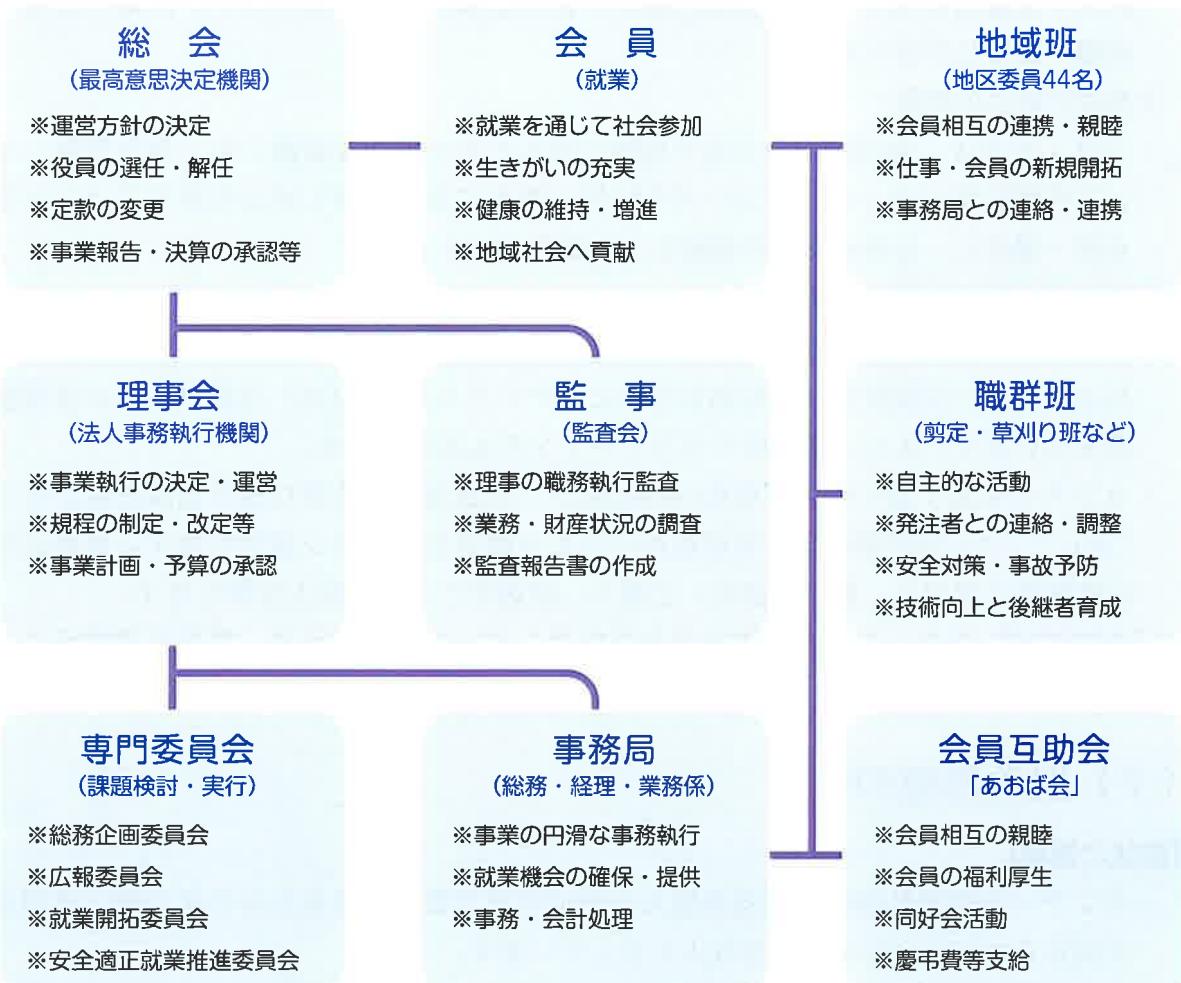
## (6) 組織・事業の充実強化

### 【現状と課題】

- ・センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、組織の運営や仕事の開拓、会員の拡大等についても可能な限り会員自らが積極的に当たるという、会員の自主的な活動を基本としています。
- ・理事会は、センターの理念を実現するため、事業の執行を審議し、決定された事業が適正に実施されているかを確認し、問題や課題の解決を図っています。
- ・専門委員会（総務企画、広報、就業開拓、安全適正就業）は、センター事業を運営する上で重要な組織であり、就業の確保や新規事業の取組み、会員拡大などで創意工夫によって活力を維持することが求められます。
- ・地域班は、地区委員が地域会員とセンターとのパイプ役として、会員の現況把握や会報等の配布、各種行事への参加取りまとめなどの役割を担っています。
- ・職群班は、職種ごとに必要に応じて編成されており、剪定班・草刈り班・除草班などで、班長を中心に会員が発注者との打合せなど自主的に就業しています。
- ・会員互助会「あおば会」は、平成4年の設立以来、会員の福利厚生と親睦を図るために会員委員が中心となり、親睦旅行やパークゴルフ大会、清掃奉仕などの各種行事を積極的に行ってています。

- ・近年コロナ禍の影響を受け、専門委員会や会員互助会は、各種活動や行事の開催が制限され、積極的な活動ができませんでした。

## 組織と役割



### 【具体的な取組み】

#### ①全般

- ・「自主・自立、共働・共助」の基本理念を会員一人一人が意識して、組織の運営や仕事の開拓、会員の拡大についても可能な限り会員自らが積極的に取り組めるよう組織の活性化を図ります。
- ・当センターは令和5年1月に「たかおかSDGsパートナー」に登録しました。公益法人として、地域の活性化などに貢献することを目指し、高岡の持続可能なまちづくり実現のための取組みを進めます。

#### ②理事会・専門委員会（総務企画・広報・就業開拓・安全適正就業）の充実

- ・理事会の運営にあたっては、センターの公益目的、基本理念、組織運営の原則を十分に理解した上で、問題や課題の解決など積極的な運営を図ります。
- ・専門委員会の運営にあたっては、企画・実行力を高め、担当理事を中心に会員主体の委員会として積極的に検討事項を提案するなどの自主性を高めます。

### ③地域班・職群班の充実

- ・地域班においては、会員同士の繋がりを広め、センターと会員との密接な連絡体制を構築することや、班単位での活動も支援していきます。
- ・職群班においては、技能講習会や職群別懇談会などを開催し、会員の技術・技能の向上や後継者育成を図り、必要に応じて新たな職群班の編成を行い、活動の充実と組織の活性化を図ります。

### ④会員互助会の充実

- ・会員互助会は、会員同士の交流や親睦を図るための大切な組織です。現在開催している各種行事の他、会員のニーズを把握し新たに会員が楽しめる行事やイベントを企画・運営し、会員の交流や親睦をより深めていきます。

### ⑤事務局体制の整備・充実

- ・センター業務の複雑・多様化や派遣事業の拡大が進む中で、効率的な事務処理や会員と発注者の利便性の向上を図るために、デジタル技術（DX）を取り入れた事業展開を行います。また、事務のアウトソーシングも活用します。
- ・センターを取り巻く環境の変化への対応や、業務運営で必要な専門知識を取得するために、全シ協が開催する資格取得のための講習会や、県シ連が実施する研修会等に積極的に参加し、職員の能力・企画力、接遇などの資質向上を図ります。

【取得資格】 派遣元責任者、職業紹介責任者、第二種衛生管理者、農薬管理指導士など

## (7) 財政基盤の強化

### 【現状と課題】

- ・センターの運営財源は、事務費収入や派遣事業手数料、会員からの年会費、高岡市や国からの補助金などが主な収入となっています。
- ・自主財源の事務費収入は、受託事業の減少に伴い年々減少傾向にありますが、派遣事業の手数料は契約件数とともに増加傾向にあります。
- ・事務費率は、平成30年度に5%から7%へ、令和5年度には7%から9%へ改定しましたが、県内では最も低い率で運営しており、多くのセンターが10~12%となっています。
- ・補助金については、令和元年度から3年度にかけ減少しましたが、令和4年度は新たに「介護分野就業促進機会事業」に取り組むことで増加しました。
- ・自主財源が減少する中、センターでは本所と福岡支所の統合や職員数の削減、事業の見直しなどの経費削減を図りながら事業運営を行っております。
- ・令和5年10月から、消費税に関するインボイス制度が導入され、新たな経費負担が生じ事業運営に大きな影響を及ぼすことから、その財源確保についての対応が求められます。
- ・公益社団法人は「収支相償」という難しい事業運営が求められており、各年度の事業実績状況や収支状況等を十分見極めていく必要があります。

## 主な収入

(単位：千円)

区分	事務費	派遣手数料	会員会費	補助金	
				市	国
平成30年度	32,385	3,980	1,048	19,439	12,126
令和元年度	31,734	4,800	1,072	18,164	18,164
令和2年度	29,110	5,011	1,046	17,100	17,100
令和3年度	30,541	4,365	1,038	14,822	14,822
令和4年度	28,420	5,216	1,015	16,397	15,672

## 財政運営の状況

(単位：千円)

区分	経常収益	経常費用	経常増減額	特定資産	
				財政運営資金	記念事業積立
平成30年度	500,109	500,252	△143	7,170	500
令和元年度	501,604	497,761	3,843	7,170	1,000
令和2年度	472,387	467,661	4,726	7,170	1,500
令和3年度	467,332	466,666	666	7,170	2,000
令和4年度	459,834	465,420	△5,586	7,170	0

## 財政運営の状況

### 【具体的な取組み】

#### ①運営財源の確保

- ・自主財源確保のため、受託（請負・委任）・派遣・独自事業を拡大し、事務費収入や手数料収入の増加に努めます。
- ・公的機関に対しては、センターの意義と役割について更なる理解を求め、仕事の発注とともに、財政支援の強化についても引き続き要望していきます。
- ・事業の見直しや事務効率化（デジタル化）などによる経費の節減、職員の適正な配置を検討するなど、支出を減らす取組みを推進します。

#### ②事務費率の見直し

- ・事務費の額は「シルバー事業の実施や法人運営に要する適正な費用を償う額を超えない額」とされており、事務費率の見直しについては、今後のセンターの収支バランスを見ながら慎重に検討し適正な事務費率の設定が求められます。

#### ③会費の見直し

- ・現行会費1,000円（互助会1,000円）は、県内では低い額となっています。  
近年は、保険料など必要経費が増額となっており、会費の引き上げが必要とする考え方や、会員拡大のため現行を維持するなどの考えもあります。会費を引き上げる場合は、一定の条件を満たした会員への割引制度の導入についても検討する必要があります。これらを念頭に置き、県内センターの動向を注視しながら見直しについて検討します。

## 5 資料編

### (1) 高岡市の60歳以上の人団体推移

区分	総人口(人)	60歳以上(人)	60歳以上の割合
平成30年度	171,174	66,465	38.8%
令和元年度	169,290	66,394	39.2%
令和2年度	168,390	66,303	39.4%
令和3年度	166,641	66,053	39.6%
令和4年度	165,033	65,444	39.7%

各年度3月末(高岡市統計資料より)

### (2) 男女別会員数と入会率

区分	60歳以上人口(人)			会員数(人)			入会率		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
平成30年度	28,862	37,603	66,465	606	430	1,036	2.10%	1.14%	1.56%
令和元年度	28,786	37,608	66,394	620	439	1,059	2.15%	1.17%	1.60%
令和2年度	28,717	37,586	66,303	593	439	1,032	2.06%	1.17%	1.56%
令和3年度	28,600	37,453	66,053	566	436	1,002	1.98%	1.16%	1.52%
令和4年度	28,388	37,056	65,444	576	429	1,005	2.03%	1.16%	1.54%

### (3) 会員の状況

区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
年度当初会員数	1,025	1,036	1,059	1,032	1,002
入会者数	123	148	133	143	146
退会者数	112	125	160	173	143
年度末会員数	1,036	1,059	1,032	1,002	1,005
就業実人員	872	870	826	817	774
派遣含む	905	902	890	840	833
就業率(%)	84.2%	82.2%	80.0%	81.5%	77.0%
派遣含む	87.4%	85.2%	86.2%	83.8%	82.9%
就業延日人員	105,358	101,867	94,062	92,892	90,229
派遣含む	112,936	111,327	104,053	102,518	102,323

## (4) 会員の年齢構成

区分	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳~	合計
平成30年度	36人	181人	387人	320人	112人	1,036人
令和元年度	30人	170人	386人	344人	129人	1,059人
令和2年度	37人	156人	386人	320人	133人	1,032人
令和3年度	32人	146人	371人	299人	154人	1,002人
令和4年度	22人	136人	329人	346人	172人	1,005人

## (5) 契約額の状況

### ①受託事業

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
受託件数(件)		14,144	13,725	12,990	12,660	12,497
受託契約金額(円)		463,075,790	459,075,939	431,961,038	431,759,982	420,614,916
発注者別	公共機関(円)	52,291,583	50,439,612	48,738,359	57,490,548	48,767,653
	民間事業所(円)	263,901,027	261,943,652	234,622,391	233,800,307	235,558,874
	一般家庭(円)	146,883,180	146,692,675	145,015,028	136,773,230	131,940,617
	独自事業(円)			3,585,260	3,695,897	4,347,772
内訳	配分金(円)	401,837,031	398,607,576	375,561,379	375,027,130	365,677,982
	材料費等(円)	28,854,147	28,734,649	27,290,637	26,191,859	26,517,354
	事務費(円)	32,384,612	31,733,714	29,109,637	30,540,993	28,419,580

### ②派遣事業

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
契約件数(件)		70	103	114	115	196
契約金額(円)		40,374,282	48,759,728	51,621,062	44,811,641	54,515,008
内訳	賃金(円)	31,759,997	38,021,061	40,145,391	34,890,341	42,699,201
	手数料(円)	3,980,180	4,799,839	5,010,617	4,365,209	5,216,491

### ③事業合計

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
契約件数(件)		14,214	13,828	13,104	12,775	12,693
契約金額(円)		503,450,072	507,835,667	483,582,100	476,571,623	475,129,924
配分金・賃金(円)		433,597,028	436,628,637	415,706,770	409,917,471	408,377,183
事務費・手数料(円)		36,364,792	36,533,553	34,120,254	34,906,202	33,636,071

## (6) 事故発生状況（保険適用分）

区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
傷害保険適用	3件	5件	3件	6件	8件
賠償保険適用	3件	2件	2件	3件	5件
派遣事業労災	0件	2件	1件	0件	1件
合計	6件	9件	6件	9件	14件

## (7) その他

### ① 県内センターの事務費率

高岡市	富山市	射水市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市
9%	9%	12%	10%	10%	9%	12%	10%
小矢部市	南砺市	上市町	立山町	入善町	朝日町	舟橋村	
10%	10%	10%	12%	10%	10%	5~7%	

### ② 県内センターの年会費（会員互助会費除く）

高岡市	富山市	射水市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市
1,000	2,000	3,000	500	3,000	2,500	2,200	3,000
小矢部市	南砺市	上市町	立山町	入善町	朝日町	舟橋村	
2,000	3,500	2,000	500	2,000	2,000	2,000	

## たかおか SDGs パートナー 高岡市シルバー人材センター

### ◎目指す姿

シニア世代が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献することや一人でも多くの方に会員となっていただくことで、センターの役割を十分に發揮し、持続可能な社会の実現を目指します。

### ◎優先的に実施すべき主な取り組み

- 1 シニア世代が活躍できる就業の場の確保と提供
- 2 シニア世代が学びながら交流できる場を提供
- 3 地域社会との連携と貢献できる場の提供



### ◎高岡を持続可能なまちにするために当センターができること

シニア世代が就業を通じて地域社会を支える仕事に従事するとともに、ボランティア活動などの社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉向上と活性化に貢献し、持続可能なまちづくりのための事業を行います。



### 第3次中期計画策定委員

区分	委員名	備考
委員長	松島保男	副理事長、総務企画委員長
副委員長	高川千恵子	理事、総務企画副委員長
副委員長	小谷川哲郎	理事、総務企画副委員長
委員	菊池幸子	理事、広報委員長
委員	澤越静二	理事、安全適正就業推進委員長
委員	海村哲次	理事、就業開拓委員長
委員	柳瀬克志	理事、会員互助会委員長
委員	佐野邦枝	会員、総務企画委員
委員	川西誠治	会員、総務企画委員
委員	前田陽子	会員、総務企画委員
事務局	澤崎茂	専務理事兼事務局長
事務局	高田享	事務局次長兼総務係長
事務局	島次美晴	経理・業務係長
事務局	松井翼	主事

### 策定経過

開催日	会議名	内 容
R 5年 10月30日	第4回理事会	・第3次中期計画策定委員会の設置について ・策定スケジュールと骨子について
11月13日	第1回策定委員会	・策定の目的と計画の期間について ・目標値と基本計画について ・資料編について
11月27日	第2回策定委員会	・計画内容の検討と修正について
12月11日	第3回策定委員会	・計画書（案）、要約版（案）の最終確認
12月20日	第5回理事会	・計画書（案）、要約版（案）の承認について
R 6年3月		・第3次中期計画書、要約版の発行

発行日 令和6年3月  
 発行者 公益社団法人 高岡市シルバーリソースセンター  
 〒933-0935 高岡市博労本町4番1号  
 TEL (0766) 20-1650 FAX (0766) 20-1648

